

## 第1回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」のご意見に対する対応について

平成 19 年 10 月 22 日

当社は、原子力発電設備、火力発電設備および水力発電設備における点検の結果、抽出された不適切な事案に対しての再発防止対策について、具体的な行動計画を取りまとめ、本年5月21日に、経済産業省原子力安全・保安院に報告しました。(平成19年5月21日、平成19年6月18日公表済み)

このなかで、原子力部門における再発防止対策のうち、「第三者目線の導入」として取り組んでいる「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」の第1回委員会を、9月14日に開催し、委員の方より9件のご意見をいただきました。

(平成19年9月14日、平成19年9月20日公表済み)

このたび、第1回委員会でいただいた9件のご意見に対して、別紙のとおり対応するよう取りまとめましたのでお知らせします。

以 上

第1回「浜岡原子力発電所・ご意見を聴く会」のご意見に対する対応について

別紙

議題	第1回委員会でのご意見	対応	実施時期
発電設備に係る点検結果に基づく再発防止対策の実施状況について <a href="#">(会議資料)</a>	①CAP会合の運営が運営方針に沿って適切に実施されているかどうか評価を行い、改善を図っていくこと。	現在実施している安全文化醸成活動に関する取り組みの中で、アンケート調査を実施し、評価・改善を図る。	19年内および19年度末にアンケートを実施する。その後も継続的に評価・改善を図る。
	②発電所の運営は中部電力社員だけでなく協力会社の方々まで含めて、モチベーションを高め、責任感を持って取り組むこと。	協力会社の方々とのコミュニケーション向上やモチベーションを高めるために実施している以下の施策を継続的に実施していく。 ・災害防止に関する協議を行う会議体、安全意識高揚および親睦行事 ・小集団活動として実施している清掃活動等(マイプラント活動) ・協力会社との意見交換会	継続的に実施する。
	③CAP会合の運営方針は、協力会社も含めて浸透させること。また、CAP会合において、協力会社からもっと発言しやすくなるよう改善すること。	協力会社の方々向けのシステムを用いて「CAP情報の発電所内掲示」を行い、CAP会合運営方針・CAP情報を浸透させていく。また、情報提供および情報発信しやすい環境作り等について、協力会社と当社で検討し、改善を図る。	19年度内にシステムを用いた「CAP情報の発電所内掲示」を行う。協力会社との検討の実施・改善は継続的に実施する。
	④平成20年度に行うとしている組織風土の評価について、安全文化に関する評価の指標化も念頭に置いて取り組むこと。	現在進めている安全文化醸成活動についてのアンケート調査を実施し、評価(指標化)や、改善点の抽出等の必要な改善を図る。	19年内および19年度末にアンケート調査を実施し、その後も継続的に実施する。
	⑤内部監査の実態と改善事項について、次回委員会において報告すること。	ご意見を聴く会の第2回委員会で、それまでに実施した内部監査の結果(指摘・提言内容)および改善内容を報告する。	内部監査の受審および改善は継続的に実施する。
新潟県中越沖地震を踏まえた浜岡原子力発電所における対応状況について <a href="#">(会議資料)</a>	⑥発電所の対応について、住民の立場から見て理解・納得できるものか、という視点で見ているので、その側面からも適切に実施していくこと。	地震発生後の初動対応、確実な情報発信および点検・復旧に向けての態勢について、現状を検証するとともに、今後、詳細検討および対策を実施していく。	継続的に実施する。
	⑦変圧器火災について、同様のことが起こった場合、適切に情報を発信すること。	以下の観点から、課題を洗い出し、対応を検討・実施していく。 ・情報発信方法の確立 ・速やかな現地プレスセンターの設置、報道機関への確実な連絡 ・地域の方への直接的な情報発信 ・国、自治体との連携による、正確な情報伝達	検討が進んだものから順次実施する。
運転状況データ公開に係る現状と今後の取り組みについて <a href="#">(会議資料)</a>	⑧中部電力のホームページにおいて公開している、運転状況データに関して、一般の人から見てもっとわかりやすい画面にすること。	解説を同一画面内に加え、分かりやすさの向上を図る。また、運転状況データ公開の改善を継続的に行っていく。	解説の追加は20年2月までに実施する。運転状況データ公開の改善は継続的に実施する。
	⑨ホームページのコンテンツの配置や、発電所で働いている人間の顔が見えるようにするなど工夫をすること。	関心が高い情報へのアクセス性向上や掲載内容の充実を図る。また、発電所で働く人々の様子が伝わるように工夫していく。	19年度中に課題の洗い出しを行い、改善策を検討する。